BAE Systems' contribution to Carrier Strike Group 2025

baesystems.com/Japan

Carrier Strike Group 2025 (CSG25) - Operation Highmast

インド太平洋地域の英国海軍空母打撃群(CSG25)の旗艦を務めるのは、クイーン・エリザベス級航空母艦プリンス・オブ・ウェールズ(HMS Prince of Wales)です。
このように大規模な世界展開は、英国海軍旗艦クイーン・エリザベスが率いたCSG21以来のことです。今回の展開において、英国のタスクグループ(任務群)はノルウェーとスペインを含むNATO(北太平洋条約機構)の主要同盟国と合同で、地中海、中東、アジア太平洋の国々に寄港して活動を行います。また、NATO 同盟国との連携を強化し、新たな脅威への協調的対応力を試すことをねらいとした多国籍演習にも参加する予定です。

HMS Dauntless, Type 45 destroyer

空母打撃群には、駆逐艦ドーントレス(HMS Dauntless)も含まれています。英国海軍が保有している6隻の45型駆逐艦は、すべてBAE Systemsによって設計・建造されました。対空・対ミサイル戦用に設計されているこれらの駆逐艦は、BAE Systems製の多機能レーダー「SAMPSON」および長距離レーダー「S1850M」など、世界最高水準の防空能力を備えています。国内外を通じた45型駆逐艦のアップグレードとメンテナンスは、ポーツマスを拠点とするBAE Systemsのエンジニアによって行われています。

戦闘管理システム(CMS)

この空母打撃群の各艦船の指揮中枢を担っているのは、BAE Systemsが構築・統合した戦闘管理システムです。このシステムによって、空母打撃群全体が世界中何処においても、機動性に優れた一つの部隊として英国の国益に沿って連携しつつ航行し、作戦行動を遂行することが可能になります。クイーン・エリザベス級航空母艦にも英国海軍の共有インフラストラクチャとプライベート クラウド技術を搭載しており、ミッション クリティカルなシステムの確実な運用を実現します。

レーダー

クイーン・エリザベス級航空母艦には、英国ワイト島で設計・建造されたARTISANレーダー(997型レーダー)が搭載されています。また、デアリング級駆逐艦には、SAMPSONレーダーが搭載されています。これらの航空母艦と45型駆逐艦には、BAE SystemsのS1850M長距離レーダーも搭載されています。

水中武器

BAE Systemsは、スピアフィッシュとスティングレイ両魚雷を含む水中武器も製造しています。スピアフィッシュは英国海軍における主力対潜・対水上艦用の誘導魚雷で、アスチュート級潜水艦に搭載されています。スティングレイは対潜水艦戦用の軽量魚雷で、英国海軍と空軍、ノルウェー軍が配備しており、英国海軍の23型フリゲートおよびマーリンとワイルドキャットの両ヘリコプターに搭載されています。

トレーニングおよびシミュレーション

BAE Systemsはパートナー企業各社とともに英国海軍によるVirtual Warrior 25演習を支援しました。
この演習では、忠実に再現された単一合成環境の中で全艦船が連接され、各艦船の戦闘指揮所とともに高度な任務の予行演習を行いました。空母打撃群はBAE Systemsの海上戦闘シミュレーター「MIMESIS®」を使い、弾道ミサイルやスウォーム攻撃といったさまざまな最新の脅威に対する演習を行い、敵対勢力に対する攻撃任務を遂行しました。また、船舶エンジニアの機器修理能力の向上を目的とし、カスタマーの要望に応じたオーダーメイドのトレーニングも提供しました。

Malloy Aeronautics T-150

今回の展開から、初めてBAE Systemsの子会社であるMalloy Aeronautics社製の完全電動式の重量物運搬ドローン「T-150」9機が空母打撃群艦船間における重要物資の輸送を実施し、任務の遂行期間全体を通じて防衛装備品や食料、本国から送られてきた小包などの配送を行います。

F-35 Lightning

Lockheed Martin社の主要パートナーの1社であるBAE Systemsは、F-35の開発、製造、支援に携わっています。BAE Systemsは英国空軍マーハム基地のLightning Team UKを主導しており、英国海軍および空軍との緊密な連携を基盤に「全軍」チームの一員として、英国のF-35部隊とそのパイロットの支援および訓練を行っています。

グローバルな支援体制

タスクグループの運用能力に影響を及ぼす緊急の障害が発生した場合に備えて、、BAE Systemsの専門家チームは世界のどこであっても、プラットフォームを迅速に展開、対応できるよう、待機しています。

Portsmouth Naval Base

2,500人を超えるBAE Systemsの従業員が、ポーツマス海軍基地を母港とする英国海軍の艦船を支えています。CSG25の一環として配備され、ポーツマスを拠点とする艦船の建造、支援、維持という国家レベルの取り組みにおいて、BAE Systemsの専門家チームは、重要な役割を果たしています。BAE Systemsは、データを基盤に最新の革新技術を活用しながら、グローバルな長期的能力と支援を、必要なときに必要な場所で英国海軍に提供しています。

Astute Class Submarine

アスチュート級潜水艦は、英国タスクグループの一員として展開されます。BAE Systemsが英国バロー=イン=ファーネスで建造したこの原子力潜水艦は、英国海軍向けに建造された最大かつ最新鋭の攻撃型潜水艦で、対地攻撃巡航ミサイルのトマホークと重魚雷スピアフィッシュを装備しています。全長97メートルの同艦は、酸素と飲料水を自給しながら潜航したままで世界一周することが可能です。

©BAE Systems 2025

BAE SYSTEMS